



大阪公立大学

# 有恒

yuko

2023 October vol.26



春節バッグを掲げ笑顔を見せる大阪公立大学中国留学生学友会会長の金慧佳さん(経済学部3年)

特別企画／大学のグローバル展開と留学生の活動  
福島伸一さん(公立大学法人大阪 理事長)

ざっくばらん／学生ベンチャー誕生・藤川翔帆さん

社長紹介／東洋アルミニウム株式会社・楠本 薫さん



# 「起業」の夢 —— いまトップギアで走り出す!

大阪公立大学公認 学生ベンチャー企業第1号に認定

株式会社ロジグリッシュ代表取締役 / 大阪市立大学 経済学部3年

藤川翔帆さん

## — 藤川さんの略歴を教えてください

2002年兵庫県で生まれ神戸で育ちました。開発途上国の現状をこどもに見せておきたいという両親に連れられて小学生の時にマレーシアのボルネオ島やフィリピンのセブ島などを旅行しました。旅先では、スキューバーダイビングに夢中になりました。が、同時に目の当たりにしたのは、私と同年代くらいの子もたちが、大人に混じり働いているという現実でした。またスキューバーダイビングの船上では緊張しながら重い空気タンクと格闘する私に英語で多くの人たちが話しかけてくれました。お礼を言いたい、コミュニケーションを取りたいと感じ、この頃から英語とSDGsに興味を持ち始めました。そして高校から英語のディベート大会に参加するようになり大学では全国大会で優勝しました。

## — 起業について考えはじめたのはいつ頃ですか

いろいろな英語教育を受けてきましたが、もっと良い英語教育を実現できるという思いから起業への夢が膨らみました。22年、大学2年の時に「Lectures on Economics in English B」の授業を受講しました。この科目は英語で経済学を学ぶ授業です。授業を担当していた、さかはら あつし先生と出会ったことで起業への夢に向かって一気に動き始めます。さかはら先生は小説家・映画監督、カリフォルニア大学バークレー校MBA、かつて音声認識を活用した完全自動口頭言語試験Versantのビジネス開発にシリコンバレーで従事していたなど、他にもくさんの顔をお持ちの



方です。にわかには信じがたいほど奇想天外なご経歴で、濃いキャラのさかはら先生を最初は信じ難かったです。それが、先生のご著書『ピーナッツ1粒ですべてを変える』(集英社文庫)を拝読したことがきっかけとなり、さかはら先生に起業についての相談をするようになりました。

## — 会社設立までの経緯を教えてください

先生や仲間の協力も受け22年の12月末に創業。今年2月1日に英語教育の会社、株式会社ロジグリッシュを設立。そして3月27日、大阪公立大学公認の学生ベンチャー企業第1号に認定され、杉本キャンパスのインキュベータにオフィスを構えるに至りました。

## — 株式会社ロジグリッシュについて

開発途上国の人材を活用した独自のオンライン口頭英語練習や、経済学や言語学など最新の学術理論やテクノロジーを幅広く取り入れて日本の教育のみならずSDGsの視点から開発途上国への貢献も同時に目指すベンチャー企業です。

「ロジグリッシュ」とは、「logic」と「English」を組み合わせた私が作った造語で「意味のやり取りが可能な英語力」を身につけてもらえる学習支援を提供するという意味で会社名にしました。

## — ロジグリッシュの事業計画について教えてください

価格設定を行う上での前提として、弊社は本当に使える英語を必要とする人に対して最上のサービスを届けることを基本にしています。もちろん既に参入している競合他社の価格も意識して付加価値をつけた価格を設定します。売上高の目標として初年度500万円、次年度5000万円、3年目20億円を設定しています。



インスタで連載中のロジグリッシュの漫画

## — 将来の夢は？

私の会社の目的は教育により国際的に活躍する真のリーダーを育成しつつ同時にSDGsに取り組むことです。開発途上国で子どもを持つ母親に仕事を提供し、新たな雇用を生み出すことで現地の人々が生き活きと仕事ができる経済的な環境作りを目指しています。教育は社会の基礎です。教育事業で社会に貢献したいと思っています。そして、起業を目指す人の手本となるような仕事をし、SDGsに取り組み、大学発ベンチャー企業として社会科学知、人文知を最大限に活かした事業展開を目指したいと思います。そして関西から世界を担う女性経営者になってほしいと、さかはら先生に声をかけていただいた言葉を忘れず実現したいです。

文責:中村祐子(文平27卒)

ホームページ

<https://www.logiglish.com/>

藤川翔帆(ふじかわ・かほ)21歳。株式会社ロジグリッシュ 創業者・代表取締役。大阪市立大学(現大阪公立大学)経済学部3年在学中。有賀ゼミに所属。高校時代にディベートで英語を習得。座右の銘:“Everybody makes mistakes. Everybody has those days.” (Hannah Montana)

京都銀行で  
ニーサ  
**NISA**  
はじめませんか？

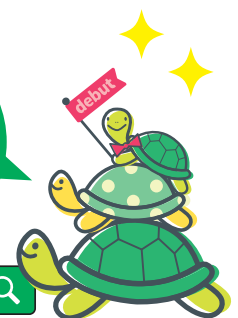
投信自動積立

毎月  
**1,000**円から  
積立できる♪



スマホで  
申込み  
**OK!**

京銀投信積立



京都銀行

## 母校に元Jリーガー来る！ 第13回ビジネス交流会開催

母校に元Jリーガーで日本代表にも選出された卒業生が・・・は大きな驚きでした。7月29日、2003年に市大・経済を卒業、20年以上プロサッカー選手として活躍、今年の春に現役を退かれた橋本英郎さん＝写真㊦＝を招いてビジネス交流会をメディックスビル大ホールで開催、会場に40人、リモートで10人、現役学生から70歳代まで、市大、府大、公大が顔を合わせ、合計50人の賑やかな会になりました＝写真㊧＝。



学業(天王寺高校生)とプロサッカーチームの猛練習(吹田にあるガンバ大阪グラウンド)の両立、大学進学かプロか、プロサッカー選手としてやっていけるか、Jリーグでの自身の存在とプレースタイル、日本代表に選ばれたわけ、選ばれなくなったわけ、オシム元監督や岡田元監督との関係、40歳を超えるまで現役を続けた理由等々、クラブワールドカップでのゴールシーンなどいくつかの動画を混じえながら、予定の1時間半を超えて熱く語ってもらいました。サッカー選手としてのキャリアと人生という長いスパンを二つの軸(デュアルキャリア)で捉えて夢を追いかける姿に参加者は大きな刺激を受けました。

その後は参加者によるグループワーク、続いて3年半ぶりの対面での懇親会。名残なき大盛り上がりそのまま、次の機会を楽しみにお開きとなりました。(文責:北村吉文)

## 4時間半にわたって懇談、懇親 OBOG公務員と志望学生交流会

公務員志望の学生が、近畿圏自治体公務員や国家公務員として勤務する府大・市大OBOGの意見・助言などを聞き、「職業としての公務員」について理解を深める機会とすることを目的に「OBOG公務員と公務員志望学生交流会」が6月24日、高原記念館学友ホールで開催されました＝写真＝。

会場では、まず最初にOBOG全員の話を聞く全体会、続いて小グループで学生の質問に答える分科会、最後に軽食をともにしながら、先輩後輩がより親しく話し合う懇談会と4時間半にわたって、大阪公立大・府大・市大の学生合計45人、現職公務員13人ら約60人が、たいへん意義ある土曜日の午後を共に過ごしました。



参加学生からは「公務員について分からないことだらけだったので、実際に公務員として働くOBOGの方に気になることを質問できたことは、これからの進路を考える良い機会になった。また、ほかの公務員を志す学生とも交流出来たことは志気を高めることに繋がったように思う。今回参加がなかった他の職種についても興味湧いた」などの感想が寄せられています。

公務員の抱えるさまざまな課題や、仕事のやりがい、公務員試験受験勉強の経験や、学生生活へのアドバイスなどが、学生の皆さんには特に参考になったようです。

この交流会は、来年も同じ時期に開催する予定です。公務員としてお勤めの皆様方の積極的なご参加をお待ちしています。

(文責:扇田豊)

